

## 編集長独言

### — 残念！OB 顔写真集断念 —

『翔友50年史』、『XI 60周年記念号』を開いて（お持ちでない方は航空部ホームページから閲覧）頂くと、その発刊までに在籍した全OBの顔写真が掲載されている。本号も周年記念号であるから60周年以降の平成9年（1997）から昨年までに卒業したOBの顔写真を掲載しようと該当OBに総会案内に同封して写真提供を呼びかけたが、水谷修平君（H12年）以外誰一人応えてくれなかった。これまでに無かったことである。本誌の伝統の重要部分がここで途切れてしまった。

その中で、前田 賢一君（H20年卒）の自発的な協力を得てH19年から21年卒の10名から提供があった。しかし、これでは恒例の「OB 顔写真集」にはならない。とは言え折角応じて頂いた方々のご協力を無にすることは編集長として出来ることでは無い。そこで、このページを作り、掲載することにした。

写真提供の方々にご了承を頂きたい。

ついでながら、「PHOTO GALLERY」のページもこの15年間の写真で飾るつもりでHPの掲示板から提供を呼びかけたが、これも空振りであった、仕方なくHPから学生が撮影したものを転載して誤魔化してしまった。

実に残念でならない。

愚痴ついでに、本号の編集内容はこの15年間を振り返り、部員激減に起因する低迷から再起への道のりを総括し、75年の歴史の中には苦境にあえぎながらも必死でバトンを繋いだ年代があったことを記録として後世に残すことを意図したが、思い通りの原稿依頼に応じてもらえることが少なかった。編集に意気込んでいただけに心が折れた。平成も二桁代には、「翔友」の求心力も働かないのか？本誌継続には会員の協力無くして成しえない。

今、折れた心をいかに繋ぐかに腐心している。



水谷修平 (H12)



久保貴士 (H19)



中村兵馬 (H19)



中田有砂 (H19)



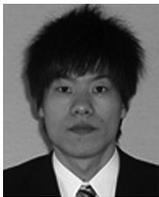
柳飛沙則 (H19)



前田賢一 (H20)



河合綾仁 (H20)



福本貴則 (H21)



本田雅博 (H21)



岩井 淳 (H21)



入江裕子 (H22)

# 創部者 牧野伊兵衛先輩の遺稿

— 同志社時報12号(1964年10月発行)から転載 —



に巻ゲートルをしたわれわれの教練を体操なみに教えておられたように思う。

また剣道場に神棚ができたとか。警察の特高が学内に立ち入ったとかで学内ストをやり、チャペルに何日も籠城したことも思い出である。

あれも、これも、そんなに切実なものでもなく、若さのはけ口だったような感じではか思ひ出せないが、そのときときには、何かしら抵抗を感じて学生らしい行動で善処したのではなからうか。

私の在学中一番の思い出は、同志社にスポーツとしての航空部を設立して学校に認めてもらったときの喜びである。予科一年の終り頃だったか、日本の航空界もその頃は初期

で、東京―大阪の定期航空がやっと軌道に乗り、約十機の「フオッカー・スーパー・ユニバーサル」という八人乗り、時速一六〇キロメートルの旅客機が飛び出した頃である。

「学生はすべてのスポーツの先駆者である」。よし、航空スポーツという新しい分野を同志社の名にかけて開拓してやろう。そう若さで叫んだのがきっかけとなって、竹内君、尾田君、橋本君と三人の学友を説得して同志社に航空部が誕生したのである。

それからは無我夢中だった。雨の日も風の日も飛行機の組立てやら、修理やら、何でもかんでもやっつてのけた。土曜日、日曜日の飛行場通い、一時間たしか五円のガソリン代をはらって、陸軍払い下げのオンボロ飛行機を得意になって操縦した。予科三年で二等飛行士、学部一回生で一等飛行士(当時本職のパイロットでも数えるほどの人数だった)の免状を下附され、もう後輩を指導する先生格になっていた。

またグライダースポーツも昭和十年に初めてドイツ人によって紹介されたが、もちろん見過すはずはない。好きこそ何とやらでたしか学部二年の頃であったと思う、全日本学生

航空大会で飛行機の方と、第二回全日本学生グライダー選手権大会でグライダーの方と、両方とも優勝して大いに同志社の名を天下に誇示したと自負している。

その後、スポーツとしての航空は戦後昭和二十七年の再開まで終止符をうたれた。

私は学生時代の飛行機が縁で現在朝日新聞社の航空部に籍を置いている。もう飛び回れないが取材の仕事の他に後援事業の学生航空の育成を担当している。

ときどきではあるが後輩の若さに接していると同志社の息吹を直に感じ取れる。

新芽はすくすくと伸びている。実に人柄がいい、醸し出す空気は青空のように清らかに感じる。これが同志社だと思う。

(朝日新聞社航空部員)

偶然発見したとは言え、航空部生みの親である大先輩の文章に接して、75周年の節目であるだけに、決して偶然では無く、「母校と航空部への思いを強く持て！」という後輩へのメッセージとして、そのご遺志が働いたような気がしてならない。

大学広報課のご好意により、縦書きそのままの体裁で転載した。

## 私の学生時代

## 航空部の誕生

牧野伊兵衛

最近ある席上で雑談中、お互に五十の声が近くなると子弟の大学進学が身にせまるねという話から発展して、われわれも良き「学生時代」を過したが今の学生も「実に自由でいい」と一しきり思い出に花が咲き、母校のこととなると年とともに古里の懐しさが加わってくるものである。

「ところで京都といえは同志社は実に環境がいいね」「新島襄の精神がまだ生きているね」と突然私の方を見て東京の私大出身のA君が声を高くした。

私は何となくニヤニヤしながらその高説を拝聴していると、京都の持つ美しさと同志社

の環境は、何時見ても実にうらやましい、あれから何十年たった今日もその調和に乱れない、それは環境によって育つ学生諸君の美意識と、新島精神のいわゆる「ガツガツ」した実利主義一辺倒の人を作らない物の考え方から来ているんだよ、それに違いない、全く羨しいカラーだ。そういう意味のことを話して小生の同意を促した。

新島精神と改まると私も年とともに遠くなり、ただ馥郁とした香りとなつて心の奥深くに匂っている母校の誇りで、それが幸だと思っている。

私の娘は現在同志社女子高校と女子中学に仲よく通学している。いい環境のもので、いとお友達を得て、のびのびと娘らしく育って行くのを見ていると、A君の言葉もまんざら時代ずれした見当はずればかりのお世辞ではないと思つてうなずきながら聞いていた。

ところで私の学生生活は昭和十一年、当時三年制の予科に入学して、五十人づつ二クラスで非常に家庭的な雰囲気にも恵まれてスタートした。四、五年前までは国語を除くすべての教科書は英文だったと聞かされて、また実際に語学の時間の多かつたことが印象に強い。

ミス・クロカワとたしかおっしゃったと記憶しているが、若い美しい外人教授はとくに御所の芝生が好きで、会話のレッスンに何時も歩き回ったこと等何となくロマンチックな青春時代の思い出として記憶が夢のように懐かしい。

勉強は強制されたことがなく、試験もまたさして難関だった記憶はない。毎日何となく教室にいたり、喫茶店にいたり、どちらが多かったが、何をどうして勉強していたのか記憶にない。ただ大学に進んで自由に環をかけて学校の近くを徘徊せず、大いに青春を謳歌し過ぎて学年試験の徹夜の連続だけは今もつてこれさえなければ……とはつきりそのつらさを思い出す。

卒業したのが大平洋戦争宣戦の年だから、在学時代徐々に軍国調に変わって行ったはずである。遠いちぎれちぎれの記憶をたどつてみると、入学した頃は体操と教練とを一人の先生が指導して、まだ軍事教練反対の声があつたように思う。当時、大友先生というたしか予備役特務曹長の先生が「教官とは呼んでいなかった」、実になごやかに「面倒だから今日はこれで我慢してもらおうや」と片足だけ

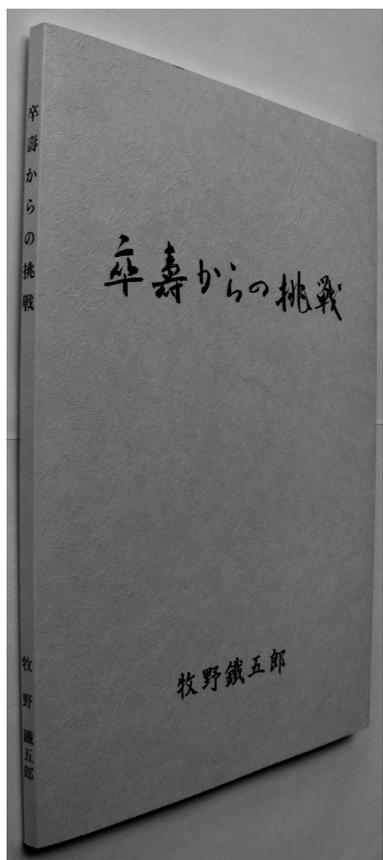
## 『卒寿からの挑戦』

— 牧野先輩 3 冊目のご著書上梓なる —

既刊の「私の航空70周年史」(H19年12月)、「大空こそ我が命」(H21年8月)に続いて牧野先輩が3冊目となる「卒寿からの挑戦」を上梓された。

先輩の歩んで来られた道のりを集大成された内容で、昭和初期の大阪梅田界限の様子や、そこに暮らす商家と少年の生活振りが生き生きと活写されていることから始まり、幼少期の思い出、戦中の感懐、そして戦後学連の復活以降教官として多くの学生を育てられた中でのエピソード等が堅苦しく無い軽妙洒脱な筆致で多くの写真を添えて語られている。驚くのは、牧野先輩の卓越した記憶力と資料の多さである。前半部は庶民から見た一級の昭和史と言って過言ではないだろう。

卒寿(90歳)にして147ページに及ぶご執筆は、まさに「挑戦」と言え、その気力に脱帽！是非一読をおすすめする。



### 【入手方法】

既刊の2冊も同じであるが、下記の出版社に電話かFAX、メールで問い合わせすると送ってもらえる。

有限会社吾妻印刷

〒960-8074 福島市西中央4丁目25

TEL 024-534-0342

FAX 024-536-0158

メール [azuma@azuma-pg.jp](mailto:azuma@azuma-pg.jp)

# 年 表

平成 8 年(1997)～平成22年(2010)

平成 7 年までは60周年記念号に収録

年	航空部・翔友会の主な出来事	戦 績
平成 8 年 (1996)	2月 木曾川合宿	
	4月 新人 1 名入部 木曾川合宿	総発航回数172回
	5月 福井合宿	71回
	6月 木曾川合宿 関大合同	166回
	7月 現役主催60周年記念事業 『航空部の歴史を振り返る』 —橋本・牧野・窪田先輩を囲んで—	
	8月 木曾川合宿	総発航回数216回
	AION II JA2354 耐空検査	
	9月 福井合宿	101回
	10月 東海・関西学生グライダー競技会 同立戦	団体10位 個人 赤瀬 正洋 6位 立命館優勝
	11月 木曾川合宿名城合同	88回
	創部60周年祝賀会 於京都全日空ホテル	
平成 9 年 (1997)	2月 木曾川合宿 関外大合同	190回
	3月 全日本学生グライダー選手権	団体 7 位 個人 赤瀬 正洋 10位 原田 明 25位
	4月 新人 6 名入部	
	6月 木曾川合宿 南山大合同	264回
	7月 翔友会総会 於新島会館 木曾川合宿 関大・名工合同	62回
	AION II JA2354 耐空検査	
	9月 AION JA2096 耐空検査 福井合宿 関大合同	102回
	AEOLUS JA2256 耐空検査	
	10月 東海・関西学生グライダー競技会 同立戦	団体 7 位 個人 今宿 昇一 7位 立命館優勝 個人 今宿 昇一 1部 3位
	11月 木曾川合宿 愛学・名工合同	82回
平成10年 (1998)	2月 木曾川合宿 関大・関外大合同	134回
	尾田 幸雄翔友会会長 逝去(2月5日)	
	6月 木曾川合宿 南山合同	
	7月 木曾川合宿 名古屋工大合同	
	8月 AION II JA2354 耐空検査	
	9月 福井合宿 関大合同	
	AEOLUS II JA2256耐空検査	
	10月 翔友会総会 於新島会館 東海・関西学生グライダー競技会 同立戦	個人 田中 亘 2位 立命館優勝 個人 松村謙太郎 1部 1位 藤村 武志 1部 2位 田中 亘 2部 1位
	11月 全日本学生グライダー新人競技大会 木曾川合宿 神大合同	団体 8 位(松村謙太郎・田添 順也)

年	航空部・翔友会の主な出来事	戦績
平成11年 (1999)	2月 木曾川合宿 関大・関外大合同	
	4月 新人男子3名女子4名入部	
	6月 木曾川合宿 南山合同 AION JA2096耐空検査	
	8月 木曾川合宿 名工合同 AION II JA2354耐空検査	
	9月 福井合宿 関大合同	
	10月 東海・関西学生グライダー競技会 同立戦	団体12位 立命館優勝 個人 松村謙太郎 1部2位
	11月 全日本学生グライダー新人競技大会 木曾川合宿 神大合同	団体8位
平成12年 (2000)	6月 木曾川合宿 南山合同	
	8月 木曾川合宿 愛学・名工合同	
	9月 福井合宿 AION II JA2354 耐空検査	
	10月 東海・関西学生グライダー競技会 同立戦	団体8位 個人 松村謙太郎 1部7位 同志社優勝 個人 松村謙太郎 1部1位 藤村 武志 1部2位 田添 順也 1部3位 平中 淳 2部3位
	11月 全日本学生グライダー新人競技大会	団体8位 個人 多田 晋 17位 平中 淳 21位
平成13年 (2001)	2月 木曾川合宿名城合同	
	5月 大野合宿外大合同	
	8月 木曾川合宿 南山・三重合同	
	9月 福井合宿 関外大合同 木曾川合宿 南山合同	
	10月 同立戦	立命館優勝 個人 平中 淳 1部3位 井上 晃子 2部1位 上野 広隆 2部2位 青山 真哉 2部3位
	東海・関西学生グライダー競技会 11月 木曾川合宿 全日本学生グライダー新人競技大会	出場出来ず。 青山 真哉32位
平成14年 (2002)	5月 大野合宿 京大合同	
	6月 木曾川合宿 南山合同	
	8月 木曾川合宿 南山・平安女合同 福井合宿 関大合同	
	9月 全日本学生グライダー新人競技大会	団体19位 個人 河合 順也 31位 西川 和宏 36位
	10月 同立戦	立命館優勝 個人 青山 真哉 1部2位 植野 広隆 1部3位 河合 順也 2部2位
	東海・関西学生グライダー競技会 12月 木曾川合宿 京女合同	出場出来ず。
平成15年 (2003)	5月 大野合宿福井大合同 木曾川合宿 府大・名城合同	

年	航空部・翔友会の主な出来事	戦 績
平成16年 (2004)	7月 福井合宿 府大・名城合同 木曾川合宿 岐大・京女合同	
	10月 全日本学生グライダー新人競技大会 同立戦	出場出来ず。 立命館優勝 個人 青山 真哉 1部2位 中村 兵馬 2部1位
	11月 第1回関関同立対抗グライダー競技会 東海・関西学生グライダー競技会	団体3位 出場出来ず。
	2月 木曾川合宿 龍谷合同	
	4月 大野合宿	
	5月 木曾川合宿	
	6月 福井合宿	
	9月 木曾川合宿	
	10月 同立戦 全日本学生グライダー新人競技大会	同志社の都合により中止 団体10位 個人 中村 兵馬 3位
	11月 関関同立対抗グライダー競技会 東海・関西学生グライダー競技会	団体4位 出場出来ず。
平成17年 (2005)	4月 大野合宿	
	5月 大野合宿	
	8月 福井合宿	
	9月 木曾川合宿	
	10月 同立戦	同志社優勝 個人 中村 兵馬 1部1位 前田 賢一 2部1位
平成18年 (2006)	北尾 直敬氏 逝去(10月3日) 全日本学生グライダー新人競技大会 関関同立対抗グライダー競技会	社会人・学生の事故多発のため中止 社会人・学生の事故多発のため中止
	11月 東海・関西学生グライダー競技会 木曾川合宿	出場出来ず。
	4月 75周年記念事業計画スタート	
平成19年 (2007)	5月 木曾川合宿 名工大合同	
	6月 福井合宿 府大合同	
	8月 同立戦	立命館優勝 個人 前田 賢一 1部2位 重田 心平 2部1位
	9月 木曾川合宿 神大・名城合同	団体13位 個人 重田 心平 22位 岩井 淳 28位
	11月 木曾川合宿 関関同立対抗グライダー競技会	団体4位 個人 中村 兵馬 6位 前田 賢一 10位
	東海・関西学生グライダー競技会	団体4位 個人 前田 賢一 2位
平成19年 (2007)	2月 木曾川合宿 京大合同	
	3月 全日本学生グライダー選手権	団体13位 個人 前田 賢一 31位 中村 兵馬 43位
	75周年記念事業実行委員会スタート	
	5月 木曾川合宿 関学合同	
	6月 福井合宿 木曾川合宿	

年	航空部・翔友会の主な出来事	戦 績
平成20年 (2008)	9月 木曾川合宿 神大合同 同立戦	立命館優勝 個人 前田 賢一 1部3位 福本 貴則 2部1位 茶田 紘史 2部2位
	10月 全日本学生グライダー新人競技大会	団体16位 個人 茶田 紘史 31位 小寺 亮 34位
	11月 木曾川合宿 関関同立対抗グライダー競技会	団体4位 個人 重田 心平 8位 前田 賢一 12位
	東海・関西学生グライダー競技会	団体8位 個人 前田 賢一 8位
	2月 全日本学生グライダー選手権	団体14位 個人 前田 賢一 16位 重田 心平 38位
	木曾川合宿 名城合同	
	5月 木曾川合宿 関学合同	
	6月 橋本 元雄氏逝去(6月2日) 大野合宿 木曾川合宿	
	8月 福井合宿 同立戦	同志社優勝 個人 重田 心平 1部1位 入江 裕子 1部2位 岩井 淳 1部3位 川又さおり 2部2位
	9月 木曾川合宿 外大合同	
	10月 全日本学生グライダー新人競技大会	団体3位 個人 竹山 翔太 3位
	11月 東海・関西学生グライダー競技会	団体優勝(Ka6 チーム 重田 心平・岩井 淳) 団体5位(ASK-23 入江 裕子・竹山 翔太) 個人 重田 心平 優勝 竹山 翔太 5位
	木曾川合宿 関関同立対抗グライダー競技会	団体2位 個人 重田 心平 2位 岩井 淳 4位
12月 大野合宿		
平成21年 (2009)	3月 全日本学生グライダー選手権	団体6位(Ka6 チーム 重田 心平・岩井 淳) 団体13位(ASK-23 入江 裕子・竹山 翔太) 個人 重田 心平 6位
	5月 木曾川合宿 関学合同 木曾川合宿 関学・関大合同	
	6月 大野合宿 木曾川合宿 関学合同	
	8月 福井合宿 同立戦	同志社優勝 個人 入江 裕子 1部1位 竹山 翔太 1部2位 川又さおり 1部4位 川治 賢祐 2部1位 山南 秀希 2部3位
	9月 木曾川合宿 名工大合同	
	10月 全日本学生グライダー新人競技大会	団体4位 個人 田渕 優亮 8位 川治 賢祐 12位
	関関同立対抗グライダー競技会	団体2位 個人 竹山 翔太 1位 入江 裕子 2位

年	航空部・翔友会の主な出来事	戦 績
平成22年 (2010)	11月 東海・関西学生グライダー競技会 木曽川合宿	団体 4 位 個人 竹山 翔太 2 位
	3月 全日本学生グライダー選手権 ASW-28 JA06DW 命名式(27日)	団体 6 位 個人 竹山 翔太 7 位 命名 AIONⅢ
	5月 木曽川合宿 AIONⅢ初飛行(22日)	
	6月 大野合宿 名城・三重合同	
	8月 福井合宿	
	9月 同立戦	同志社優勝 個人 竹山 翔太 1 部 1 位 川又さおり 1 部 3 位 川治 賢祐 1 部 5 位 田淵 雄亮 1 部 6 位 松本江里加 2 部 1 位 村瀬 徹 2 部 2 位 川又 利江 2 部 3 位 清水 孝晃 2 部 4 位 佐々木康人 2 部 5 位
	木曽川合宿 名大合同	
10月 全日本学生グライダー新人競技大会 関関同立対抗グライダー競技会	団体11位 個人 村瀬 徹 13位 清水 孝晃 24位 団体優勝 個人 竹山 翔太 2 位 田淵 雄亮 4 位	
11月 木曽川合宿 東海・関西学生グライダー競技会	団体 5 位 個人 丹羽 正樹 7 位	
12月 大野合宿 南山合同		
平成23年 (2011)	2月 木曽川合宿 府大・南山合同	
	3月 全日本学生グライダー選手権 東北関東大震災(11日)のため途中中止	出場 竹山 翔太 川又さおり 川治 賢祐 機体 ASW-28



まだまだ先の事だと思っていた75周年祝賀会が、愈々今秋になった。楽しみである。

ポーッとしている内に齢70になった。この歳になると、近々の事は忘れるのに、昔の事はよく覚えている。特に大学時代、中でもやっぱり航空部で過ごした4年間の記憶は鮮明である。

暑い日も寒い時も、一日一回飛べるかどうか、でもその一回のために、グライダーを追って来る日も来る日も仲間と一緒に滑走路を走り続けた。「負けたくない!」と何時もそう思っていた。常に上を目指していた。きっと全員がそう思っていたに違いない。

厳しいが頼もしい先輩が居た、支え合った同期、かわいい後輩が居た。苦しい時、つらい日があった。仲間達のお陰で乗り越えることが出来た。そんな仲間達と一堂に再会が叶う。私にとってはこのような機会は、最後ではないか思う。大勢の翔友に会いたい。

10月22日、お会いしましょう。 京都で!

(窪田)

## 75周年記念祝賀会

日時 10月22日(土) 受付 13:00  
式典 14:00  
祝賀会

場所 京都全日空ホテル

中京区堀川通二条城前 TEL 075-231-5333